2025 ノウフク アワード

NOUFUKU AWARD 2025

みんなで耕そう！

人・地域・未来の豊かな循環

多様で魅力的な農福連携（ノウフク）の取組を募集します。

ノウフク・アワード 2025

農林水産業 × 福祉 = ノウフク

農林水産業と多様な人が連携することで、持続可能な共生社会をうみだすノウフクが、全国で拡大しています。農林水産業においては、次世代を担う人づくりや荒廃農地の活用など、産業の維持・発展につながるものとして。障害がある人をはじめとする多様な人材においては、個性を活かした社会参画や、役割と居場所づくりを後押しするものとして。そして、地域に暮らすすべての人の、持続可能な生活と経済をつくり支える力になるものとして。ノウフクが生み出す価値に大きな期待が寄せられています。ノウフク・アワード 2025ではノウフクの多様な事例を発掘・表彰し、その輪の拡大を図り、新たな知恵や気づきを社会に発信します。

エントリー受付中！

【応募期間】2025年 8月4日(月)～9月30日(火)

詳細情報・ご応募はノウフク・アワード 2025募集サイトまで

noufuku.jp/award

実施主体 農福連携等応援コンソーシアム

会員随時募集中！ 無料

詳しくは、ノウフクWEBのホームページから▶

令和2年3月13日に、農林水産省をはじめとする関係省庁と関係団体が協力して設立した農福連携等応援コンソーシアムは、「耕すみんな」を応援するための団体です。国や地方公共団体はもとより、生産者、企業、地域コミュニティ、消費者、販売者、コーディネーターなどが連携し、官民挙げて国民的な運動として農福連携を応援することを目的に取組を進めています。

多様で魅力的なノウフクの取組を募集します。

エントリー受付中!

【応募期間】
2025年 8月4日(月)～9月30日(火)

2025 ノウフクアワード
NOUFUKU AWARD 2025

みんなで耕そう!

**ノウフクの取組を、表彰を通じて応援し、
その価値を多くの人に知ってもらうことで、地域社会に根づかせるためのアワードです。**

応募方法

ノウフク・アワード2025募集サイトより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、
エントリーフォームからご応募ください。

応募対象

地域において、農林水産業で障害者等の多様な能力が発揮され、農林水産分野、福祉分野が抱える様々な課題解決や、障害者等の社会参画の実現、地域農林水産業の維持・発展、更には地域活性化にも貢献している団体等

対象となる取組例

- 農林水産業経営体が障害者等を直接雇用している取組
- 社会福祉法人等が運営する障害者就労施設が自ら農林水産業を行う取組、又は自ら生産した農林水産物等を使って加工食品の製造を行う取組
- 社会福祉法人等が農林水産業法人を設立し、当該農林水産業法人において障害者等が農林水産業を行う取組
- 農林水産業法人が障害者就労施設を設立し、当該事業所の障害者等がその農林水産業法人の農場等で農林水産業を行う取組
- 農林水産業経営体と障害者就労施設が農作業(林業、水産業を含む。以下同じ。)に関する請負契約を締結して、障害者等が施設外就労で農作業等を行う取組
- 地域内又は近隣の市町村等の農林水産業経営体や障害者就労施設と連携して、これらから農林水産物等を仕入れて、障害者就労施設等が加工食品の製造を行う取組
- 企業や協同組合などが自ら、又は特例子会社を設置して障害者等を雇用し、農林水産業を行う取組
- 地域協議会、NPO法人、協同組合等による、地域の農福連携等の需給状況の把握や年間を通じた農作業の創出、マッチング、地域の農林水産業の特性を踏まえた農作業の受委託のルールづくり、農福連携等の取組主体の拡大に向けた体験会の開催、人材育成等の役割を整理・周知等の取組
- 地方公共団体等が支援して農福連携等を行っている取組
- その他、地域における農福連携等の定着に向けた取組、障害者等の農林水産分野での活躍を見据えた取組、ユニバーサル農園の取組、特別支援学校等教育機関での取組、高齢者施設、矯正施設や更生保護施設での取組、生活介護や放課後等デイサービスなど福の広がりに関する取組等、未来につながる取組

詳細は、「ノウフク・アワード2025」実施要領をご参照ください。

選定の流れ

応募の中から、審査基準に基づき各賞を選定します。①グランプリ:今回のアワードで優秀賞に選定されたもの及びこれまでのノウフク・アワードにおいて優秀賞以上(グランプリを除く)を受賞し、かつ、今回のアワードにおいても応募があったものの中から最も優れた取組を選定します。②準グランプリ:今回のアワードで優秀賞に選定されたものの中から審査基準における「人を耕す」、「地域を耕す」、「未来を耕す」のそれぞれの領域において特に優れているものを各１点選定します。③優秀賞:取組主体別に「人を耕す」、「地域を耕す」、「未来を耕す」の３つの視点から審査を行い、総合的に優れた取組を数点選定します。④フレッシュ賞、チャレンジ賞:優秀賞に達しないが、優良な取組の中から、(1)取組開始５年以内の団体等について、フレッシュ賞を、(2)高齢者や生活困窮者等との連携や、水福、林福、地域の伝統産業との連携など、新たな農福連携等に取り組んでいる団体等について、チャレンジ賞を各数点選定します。

表彰式

表彰式は、各賞に選定された団体等を招いて、令和８年１月頃に、東京都内の会場で開催します。
表彰式と併せて、シンポジウム等の実施を予定しています。

審査委員

中嶋 康博(委員長)
女子栄養大学
教授

濱田 健司
東海大学
教授

松森 果林
聞こえる世界と聞こえない世界をつなぐ
ユニバーサルデザインアドバイザー

村木 厚子
全国社会福祉協議会
会長

米田 雅子
宇都宮大学
理事

ノウフク

ノウフク・アワード 2025を受賞した取組は、農林水産省ホームページに掲載のほか、
農福連携等応援コンソーシアムを通じてその会員や関係団体に情報発信されます。

ノウフク・アワード 2025 応募はこちらから!

詳細情報・ご応募はノウフク・アワード 2025 募集サイトへ
noufuku.jp/award

○お問合せはメールで／農福連携等応援コンソーシアム 事務局(一般社団法人日本基金)　メールアドレス:noufukuaward@nipponkikin.org (問合せ時間:平日10:00～17:00)